

## ★薬食同源★

◆薬草以外の漢方生薬◆  
動物、鉱物など

太田 順康

△マムシ クサリヘビ科 ニホンマムシ

昔から、頭だけになっても  
噛みつくに来るとか、皮をむ  
いて内臓をとって、骨と肉だ  
けにしても（反鼻）いつまで  
も動いていることから、執念  
深い、強気な生き物の代表とされています。そのため蒸し  
焼きや黒焼きにして粉末にしたものは、滋養強壮剤として、  
気の小さい人に飲ませると強気になれると珍重されて  
きました。



生血を葡萄酒に入れて飲むと強壮剤として最高だと、喜  
んで飲む人があります。昭和38年頃で1匹千円で飲んで  
いく人がありました。私の月給が1万8千円の頃の話です。

実際は良質のたんぱく質が多いようです、ただシマヘビ  
も同じようで栄養学的には差がないそうです。

黒焼きの時に出来た伯州散はこの反鼻と鹿の角、津蟹  
の黒焼きを粉末にしたもので、化膿症、痔瘻、の良薬です。

今で云うプロテイン剤の様に滋養強壮剤としてマムシ、  
黒ゴマ、大豆を粉にして毎日飲むと良いと云われていました。

またマムシの焼酎漬は打ち身捻挫の外用薬として重宝  
されています。

△スッポン

マムシと同じように噛みついたら離れないことから強壯  
剤として、生血が珍重されています。またコンドロイチン  
が豊富なのでお肌プリプリになるとスッポン鍋も人気の料  
理です。

背部の甲羅は鼈甲と言って貧血気味の人のほてりや、皮  
膚のカサカサに配合されたり、骨盤内臓器にある腫瘍を小  
さくする働きがあると子宮筋腫などに応用されています。

陸亀の甲羅も亀板と言って鼈甲と同じように使われま  
す。

△シナゴキブリ △ヒル △アブ

これらの吸血小動物はそれぞれ瘧疾、水蛭、蛇虫として  
血の道の薬に応用されています。

打撲などで、本来の血の働きを失い固まってしまった血  
を瘀血といい、ヒステリー、月経不順、クロソコヒなどの  
原因になりますが、それを溶かす働きがあります。

(つづく)



曜日と時間：毎週金曜日 8:30～10:30

参加：無料

お茶など飲み物を持参

&lt;7月の予定&gt;

暑くなってきました。それで7月は時間を  
変更して、8時30分からの山登りします。  
暑いときですので、お茶など飲みものを忘れ  
ずにご持参ください。

4日(金) 11日(金) 18日(金)

25日(金) ☆雨のときは、中止します。

お知  
らせ

## § 漢方相談日

(担当 太田順康：日本漢方交流会認定漢方終身師範。  
岐阜県漢方研究会会長。岐阜薬科大学「漢方学」講師)

今月の漢方相談日は、下記のようにです。

7日(月) 14日(月) 28日(月)

## § 7月の休診日

21日(月) 海の日

よろしくお願いたします。

## § 今年度の健診予定

お手元の受診券をご持参の上、お越しください。

◎特定健康診査：6月1日～10月31日

&lt;対象者&gt;

・岐阜市国民健康保険加入者

・1939(昭和14)年11月1日

～1975(昭和50)年生まれ

◎ぎふ・すこやか健康診査：

9月1日～11月30日

&lt;対象者&gt;

・後期高齢者医療制度に加入の岐阜市民の方

☆たばこをやめて、健康を保て